

西日本豪雨災害犠牲者に祈りを捧げて

Alexander Paley Piano Recital

<演奏楽器>ブーニン所有の1909年製 *Blüthner*

アレクサンダー・パレイ ピアノリサイタル

~ Program ~

シューベルト F.Schubert
4つの即興曲 Op.90 / D.899 Impromptu Op.90 / D.899

シューベルト=リスト F.Schubert- F.Liszt
アヴェ・マリア Ave Maria
シェイクスピアのセレナーデ Ständchen von Shakespeare
連 禱 Litanie
魔王 Erbkönig

バッハ J.S.Bach
半音階的幻想曲とフーガ BWV 903
Chromatische Fantasie und Fuge BWV 903

ショパン F.Chopin
幻想ポロネーズ Op.61 Polonaise-Fantaisie Op.61

2018年 10月7日(日)
14:00pm 開演 / 13:30pm 開場

松本記念音楽迎賓館

チケット取扱い
お問い合わせ

入場料:4,000円
[全席自由]

松本記念音楽迎賓館 TEL: 03-3709-5951 (電話予約、当日渡し)
大阪国際音楽コンクール事務局 TEL: 06-6625-5931
<http://www.osakaimc.com> E-mail: osakaimc@gmail.com

主催 / 一般社団法人 大阪国際音楽アカデミー
後援 / 大阪御堂筋本町ロータリークラブ

協力 / *Blüthner* Julius Blüthner Pianofortefabrik GmbH

※ 内容が変更になる場合がございます。

Alexander Paley (アレクサンダー・パレイ) *Piano*



アレクサンダー・パレイは、コンチェルトやピアノソロ曲集など、非常に幅広いレパートリーを持ち、華やかな技巧的腕前と、曲に対する彼独特の深い解釈で定評を博す。

モルドバのキシナウに生まれる。6歳よりピアノを始め、13歳で初めてリサイタルを開催する。16歳の時に、モルドバ国立音楽コンクールで優勝。その後、モスクワ音楽院で、ベラ・ダヴィドヴィチ、ヴェラ・ゴルノスタエヴァに師事し、1981年に卒業する。ライプツィヒ国際バッハコンクール第1位(1984年)、ベーゼンドルファー賞(1986年)、第1回パンチョ・ヴラディゲロフ国際コンクールでグランプリ(ブルガリア1986年)、ヤング・アーティスト・デビューでグランプリ(ニューヨーク1988年)、アレックス・ド・フリース(ベルギー1990年)、ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック・クラシック(フランス2006年)にて賞を得る。

ワシントン・ポストは、1991年ワシントン・ナショナル交響楽団とのパレイのデビューを「完璧な演奏」と評し、それ以降、ロサンゼルス・フィルハーモニック、ボストン・ポップス・オーケストラ、アスペン祝祭管弦楽団、ミネソタ管弦楽団やセントルイス、サンディエゴ、ユタ、コロラド、ミルウォーキー、シアトル、シラキウス等の交響楽団との協演でも、同様の賞賛を得ている。彼は、アメリカン・コンポーザーズ・オーケストラの1996-7年シーズンで、シェイラ・シルバーの協奏曲を初演し、カーネギーホールデビュー果たす。ニューヨーク・タイムズは、この演奏を「ピアニストは、何かに取りつかれたように演奏した」と評した。

サンフランシスコ、ロサンゼルス、リッチモンド、アトランタ、ワシントンD.C.のケネディセンター、シカゴのアライド・アーツ・シリーズ、シアトル国際フェスティバルなど、アメリカ各地でリサイタルを開催。1999-2000年シリーズで、バッハのゴルトベルク変奏曲とフランス組曲No.5を主にしたプログラムをダンバートン・コンサートシリーズでドイツ大使館の新しいブリュッナーピアノの為に演奏し、現在では、毎年リサイタルを開催している。このリサイタルを機に、毎年、D.C.に戻り、2004年にはモーツァルトの全ソナタを、2011年には、「オール・リスト・コンサート」を演奏。2011年の演奏は、録音され、WETAの「フロント・ロウ・ワシントン」にて放送された。

ベラ・ダヴィドヴィチやムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、ウラディーミル・スピヴァコフ等の著名な芸術家、フェルメール弦楽四重奏団、イガイ四重奏団、ファイン・アーツ弦楽四重奏団、MDR交響楽団やニューヨーク・フィルハーモニック、モンペリエ国立管弦楽団等の首席奏者と共演。

2011年にはフランスのノルマンディーにあるムーランダンデで開催のパレイ氏のフェスティバルが20周年を迎えた。このフェスティバルは、1週間にわたり、歌曲や室内楽のリサイタルが行われ、多くのフランスの音楽愛好家たちの音楽シーズンのハイライトとなっている。その模様はロシアテレビから一時間ドキュメンタリー番組として東欧圏ならびにイスラエルに放映された。1997年に、同フェスティバルの一環として、国立エヴルー劇場にて、ペルゴレーシの奥様女中とテレマンのピンピノーネを指揮し、指揮者デビューを果たす。それ以降、バッハの1~4台のピアノのための協奏曲全曲、モーツァルトの1~3台のピアノのための協奏曲全曲、ベートーヴェンの全ピアノ協奏曲、パリ室内管弦楽団とのメンデルスゾーンピアノ協奏曲を指揮兼演奏した他、モルドバ国立歌劇場にてヴェルディの椿姫を指揮した。

パレイは、東欧のみならず西欧でも活躍、頻りにソロ、コンチェルトを行う。1985年から1990年までウラジミール・スピワコフ率いるモスクワ芸術団のソリストとして活躍。1986年ポリショイ劇団オーケストラ、1989年モンテカルロオーケストラと協演。フランスの作曲家ジャン・ルイス・アゴベッツのピアノコンチェルトをストラスブルグフィルとパリのプレイエル社で世界初演デビュー。また、1998年からアメリカのヴァージニア州リッチモンドにて毎年フェスティバルを開催し、大胆なプログラム構成と卓越した演奏で批評家の絶賛を得ている。

松本記念音楽迎賓館



- 東田園都市線「二子玉川駅」よりバスを利用の場合
東急コーチ 玉31 成育医療センター行き※、または 玉32 美術館行き
停留所「もみじが丘」または「岡本三丁目」下車徒歩4~5分
※ステンドグラスを目印にいらしてください。

- 小田急線「成城学園前駅」よりバスを利用の場合
東急バス 都立01 都立大学駅北口行き
停留所「岡本三丁目」下車 徒歩4~5分



The 19th 2018

大阪国際音楽コンクール
OSAKA International Music Competition

芸術監督
Alexander Müllenbach

特別顧問
Michael Frischenschlager

<http://osakaimc.com>

f @OSAKAInternationalMusicCompetition